

令和6年3月15日発行

# 広報“COCO ケア”

“Community comprehensive care”  
Hand in Hand ～ 手を携えて ～

第14号

(公益社団法人 宮崎市郡医師会 地域包括ケア推進センター)

## ごあいさつ

春光うらかな季節となりました。医療介護に携わる多職種の皆様方には、日頃から地域包括ケア推進センターの事業にご協力をいただき感謝申し上げます。

令和6年1月1日に能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。地震の発生した地域は、家屋の倒壊や道路などインフラの寸断、電気・水道などのライフラインへの甚大な被害を受け、必要な医療・介護を受けることが難しい状況となりました。その中で、医療・介護関係者等が協力し合い、医療・介護を必要とする方々のケアが続けられています。平時から有事を見据えた医療・介護連携の推進が大切であると実感しました。

今後、宮崎・東諸県地域では南海トラフ地震発生により、著しい災害が生じる予測があります。そのことも視野に入れながら、今後も地域の実情に応じた、在宅医療と介護を一体的に提供できる「地域包括ケアネットワークの構築」に向け取り組んで参ります。



## ★特集「知っとう！医療介護に関わるお仕事」★ 第13回

今回は、宮崎県精神保健福祉士協会 代表理事 押川 奉史 様からご寄稿をいただきました。

### 「一般社団法人宮崎県精神保健福祉士協会の活動紹介」

一般社団法人宮崎県精神保健福祉士協会  
代表理事 押川 奉史



21世紀はこころの時代と言われています。多様な価値観が錯綜する時代にあって、こころのあり様は私たちがもっとも関心を寄せる問題の一つとなっています。

特に、わが国では、私たち誰もが罹りうるこころの病を負ったことで、多くの社会的障壁を抱えた人々（精神障害者）に対する社会復帰や社会経済活動への参加の取り組みは、先進諸国の中で制度的に著しく立ち遅れた状況が長年続いていました。

近年になり、関係法の改正などにより、ようやく精神障害者も私たちと同じ一市民として地域社会で暮らすための基盤整備が図られることとなりました。

精神保健福祉士は、精神科ソーシャルワーカー（P S W : Psychiatric Social Worker）という名称で 1950 年代より精神科医療機関を中心に医療チームの一員として導入された歴史のある専門職です。社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、その人らしいライフスタイルの獲得を目標としています。

さらに、高ストレス社会といわれる現代にあつて、広く国民の精神保健保持に資するために、医療、保健、そして福祉にまたがる領域で活躍する精神保健福祉士の役割はますます重要になってきていると考えます。

さて、一般社団法人宮崎県精神保健福祉士協会は、2000 年に精神保健福祉士が国家資格化され、それを機に発足した職能団体です。

現在の会員数は 250 名余りで、半数以上の会員が精神科病院やクリニックで精神障がいのある方々の入退院や日常生活上の相談援助、障害年金や生活保護申請等の社会保障の充実、及びディケア等の自立生活への訓練に従事しています。

会員の勤務先は医療機関に止まらず、障がい者福祉施設や地方公共団体、教育機関、など多岐にわたっており、近年ではスクールソーシャルワーカーや心神喪失者等医療観察制度における司法関係の職域も拡大している状況です。

当職に対する社会的ニーズの高まりを受け、当協会では 2018 年に一般社団法人化をする運びとなりました。

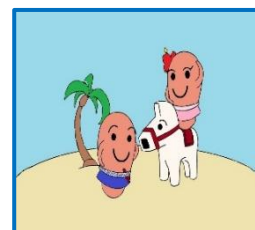
現在の協会における活動としては、県障がい者施策推進協議会や自殺対策推進協議会を始め、サービス運営適正化委員会、精神医療審査会や宮崎県災害派遣精神医療チーム（DPAT）による災害派遣、障がい者の権利擁護や地域住民のこころの健康に関する施策に参画しています。

また、関係職種の方々や一般市民の皆さまには、精神障害者地域移行支援事業、依存症関連問題改善活動支援事業、ワンストップ相談（自殺対策）等々の事業において講演や相談会等を実施していますので、ご興味のある方は是非参加して頂ければ幸いです。

一方、介護保険関連では、地域包括ケアシステムの関連から、地域共生社会が謳われており、国は精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

特に私たちの生活する市町村では、高齢者、児童、障がい、生活困窮など多くの生活課題を分野別や縦割りではなく、ワンストップで受け止める体制作りが重要となっています。

我々精神保健福祉士は、広く国民の精神保健福祉の向上維持を目的とした専門職であります。メンタルヘルスの領域で直接的な支援に加えて、ケース会議、地域ケア会議などへの出会う依頼の実績もあり、支援者支援の立場でもお役に立てればと考えています。



\*\*協会マスコット\*\*

#### …編集後記…

この度は、宮崎県精神保健福祉士協会の取組についてご紹介いただきありがとうございました。こころの時代と言われる 21 世紀において、精神保健福祉士の方々が目標とし、活動されている内容や、高まる社会的ニーズへの協会の対応について詳しく知ることができました。在宅医療・介護連携推進に向け、今後ともよろしくお願いたします。



## ○12月14日(木) 第17回 在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会を開催しました (会場及び Web 配信によるハイブリッド方式)

講師に、ひなた在宅クリニック 眞川 昌大 先生 をお迎えし、「腎不全・透析患者さんを在宅でいかに支えるか～多職種連携の重要性～」をテーマにご講演いただきました。日本では高齢化に伴い、腎不全・透析患者の増加、高齢化、通院困難のため在宅医療に関わる機会が増加しています。

今回の講演では、腹膜透析患者に関して、高齢や認知機能低下などで自力での継続が難しくなっても、透析治療が自宅で継続できるように、どのようなサポートがされているのか、連携を軸にお話いただきました。また、講演終了後には医療機器メーカーの方による実地演習(腹膜透析、血液透析の長期留置型カテーテルの管理)も行われました。

97 名の方が参加され「腹膜透析を見たことがなかったので、実際の機器で知ることができて良かった。」「機器扱いは難しいと感じていたが、簡単にできる工夫がしてあることが分かった」「腹膜透析の事がイメージできた」などたくさんのご感想をいただきました。



## ○2月15日(木) 第22回 在宅医療実践のための多職種協働研修会を開催しました (会場及び Web 配信によるハイブリッド方式)

講師に、あおやま訪問・救急クリニック 院長 青山 剛士 先生、こどもとおとなの訪問看護ろけっと☆ステーション 看護師 森重 理恵 氏、作業療法士 濱砂 友理 氏をお迎えして二部構成での研修会を開催しました。当日は、会場 29 名、Zoom55 名、合計 84 名の方にご参加をいただきました。

第一部として「拒否の強い認知症高齢者に対する看護とリハビリの協働」をテーマに森重氏と濱砂氏から事例発表をいただきました。症例と関わる中で、多職種の専門的知識や技術、各職種の強みを出し合い、ディスカッションしながら治療へ生かすと、劇的な変化が得られるというお話がありました。

第二部では、青山先生から「PICC 挿入・確認・管理」についてミニレクチャーをいただきました。事例を通し、PICC (末梢挿入型中心静脈カテーテル) を管理する場面においても、院内スタッフ連携 (医師・看護師・事務)、訪問看護・リハビリ、薬局、施設スタッフ、ケアマネ、患者・家族との連携および協働が重要というお話をいただき、今回の研修会を通し改めて在宅医療の現場の中で、多職種で協力して取り組むことの大切さを実感しました。参加者からは「多職種の専門性を出し合う事の強さを感じ、気が引き締められた」「症例の提示があったため、具体性があり理解しやすかった」など、たくさんのご感想をいただきました。



ご参加ありがとうございました



## 【お知らせ】★パンフレットを配付しています★

- ① 宮崎市・国富町・綾町在宅医療実施施設名簿 第11版  
令和5年2月に内容を更新しました！！
- ② 看取りのパンフレット ～旅立ちへの道しるべ～  
(患者用・スタッフ用・ポスター)
- ③ 在宅療養サポートBOOK

この度新たに作成しました！！  
患者・利用者が加齢や病気で介護が必要な状態となり、療養生活を迎えるとき、在宅療養について知っておきたいことをまとめたものです。是非ご活用下さい。



ご希望の事業所は、  
地域包括ケア推進センター (77-9106)  
までご連絡ください。

## ★ホームページをご覧ください★

地域包括ケア推進センター専用ホームページを開設しています。センターの取り組み内容や研修案内、皆様の業務に関連したお役立ち情報を掲載しています。「こんな情報があったらいいな」「この研修案内を載せてほしい」等ご要望もお受けいたします。お気軽にご連絡ください。ぜひ、<https://www.coco-care.com/> または右記 QR コードよりご覧下さい。



## ★講演会、研修会等の講師を探すお手伝いをします★

推進センターでは、医療・介護に関わる多職種や各団体の方との連携し、事業に取り組んでいます。研修会などを開催するにあたり「講師を紹介してほしい」「依頼の仕方を教えてほしい」等、お困りがありましたら、お手伝いをします。お気軽にご連絡 (77-9106) ください。

### 今後の予定

- MICT 研修 (訪問、Web、DVD 貸出)  
MCS の登録や活用方法についてご説明します。  
※随時、ご希望をお受けします。
- 医療介護連携に関する様々な相談をお受けします。お気軽にどうぞ。

### 開設時間

- 月～金曜日  
午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分
- 土曜日  
午前 8 時 30 分～正午  
※日曜・祝日・年末年始を除く

〔発行〕公益社団法人 宮崎市郡医師会  
地域包括ケア推進センター (医師会病院棟 1 階)

〒880-2102 宮崎市大字有田 1173 番地  
TEL : 0985-77-9106 (直通) FAX : 0985-77-9126 (専用)  
E-mail : [care-suisin@cure.or.jp](mailto:care-suisin@cure.or.jp)